●**中聖牛の設置場所一の確定 昨年より 50m 上流に位置予定** 12月2日(日)竹門先生と田住君と山村が現地で杭打ちを行いました。そして上空からドローンによって地形などの撮影。今回の増設では跳ね水を本流に導くことを主力にしながら、右岸に向かって堆積している高水敷に跳ね水が効果を発揮してくれることも併せて期待できる位置となっています。組立の木材の中で主柱となるものは電柱に匹敵する巨大なもので、重さも想像を超えるものです。これを人力だけで高く掲げられるのであろうかと思う重さと大きさで長さのものです。玉石投入にもそして聖牛の組み上げにも少人数ではとても取り組めない大作業です。関心をお持ちの皆さんご参集をお願いいたします。こうした取り組みは何度も経験できないものなので、多くの皆さんのご支援をお願いいたします。当日は里山の会では弁当を50人分ふるまうことにしています。各位のご持参もお願いしていますが、少しおもてなしの準備を考えています。こぞってご参加をお願いいたします。

●**中聖牛製作設置の取組 和束砕石からの玉石の納入 無事に受入れ** 11月30日 約40t この取り組みの中で一番心配なことは蛇籠を製作できるだろうかという課題でした。もちろん材料の準備にも心配がありました。続いて玉石の準備と河原への搬入で、砂浜という悪路での運び込みが順調にでき、可能なのかということです。10トントラックでの運び込み、続くキャタビラダンプによる小運搬でした。初日の小運搬が始まりましたが、キャタビラダンプのオイル漏れが発生し、ダンプを取り換えたところ二台目も同じような所でオイル漏れが発生して作業は蛇籠の運び込みとなりました。4日は時々小雨が強く降る中での作業でした。予定の5日には二台のコンボやキャタビラダンプ等の重機が順調に動き、予定通り計画した作業は出来上がりました。事前準備は一応計画したところまでは出来上がりました。残るは人手がどれだけご参集いただけるのかがカギとなります。できるだけ多くご参加をお願いいたします。

●**18年最終の展示発表会 2018年度京都府環境フェスタ 12月8・9日** 会場はパルスプラザ(近鉄竹田駅下車・シャトルバスが準備されているようです) 里山の会の出展計画は ①竹蛇籠の本物3本で、次に定番の ②松かさツリーづくり体験です。展示物のメインは中聖牛実物展示です。そして ③山城の歴史 ④木津川はどんな川 ⑤中聖牛と蛇籠づくりを掲示します。両日とも中聖牛の組立と玉石詰め込みの予定と環境フェスタが重なった取組になります。二つ取組みとも重要なイベントなので、環境フェスタは播川理事長に責任者をお願いをすることになります。同じ会場で発表される河川レンジャーブースには里山の会所属のレンジャーさんも来所されているので、大いにお手伝いをお願いして、成功させたいと思っています。会場のブースは3ブース分一列を配分いただきました。これまでにない大きな展示場所になります。ご期待ください

●**木津川希少植物調査管理業務**のうち、除草作業の完了は12月を目指して意気込んでいただいていたのに肝心かなめの自走式草刈り機が役立たない事態になりました。この自走式草刈り機ハンマーモアは、長年木津川マラソンの駐車場や本部会場の直線で100m以上や250mの広大な面積の刈取り作業に威力を発揮してきました。また里山農園の開拓にも強力な効果を発揮しました。いずれもこの刈取り機械がなければ、とても今日の姿は考えられないというとてもつもない必需品で、今日まで効果を発揮し続けてくれました。それだけ駆使してきたものです。それがエンジン不調 運転不能になったのです。JA 京都山城の農機具修理工場で点検の結果。新品に買い替える方が良策ではないと助言をいただきました。里山の会としては印刷機と並んで最も必需品でありますので、助言

を受け入れて、新品を注文しました。購入資金には何かと無理をしなければなりません、いずれこうした事態は訪れてくると開き直りました。大至急に納品をいただけるとお聞きしました。

●恒例のミカン農家収穫ボランティア 12月1日(土) 思わぬ不作で大変 里山の会から大村さんと他3人が応援に出かける

今年は何ととっても夏の異常高温が続き、すべての農作物に大きな影響がありました。それに加えて台風の度重なる上陸と来襲でした。自然の猛威がいかんなく荒れ狂いました。それに加えて、これまで獣害被害が話題になってきましたが、ミカン農家の多くの方々が、被害防止柵を一挙に張り巡らされたので、被害が無柵の畑に集中して、見るも無残な状況になってしまいました。こうした悪条件が重なって、これまでにない不作となりました。地元の皆さんも含めて8名の作業で午前中に全部収穫することになりました。地主の村田さんは、来年に向けて防護柵の設置の検討が大事になるとおっしゃっていました。

●木津川希少種生育調査個所の一覧追加表が完成 昨年度には10月に契約が成立して除草作業や生育調査を大急ぎで実施しました。今年4月に契約が行われたのですごく順調に見えましたが、基本データに未記載の場所が数カ所あって、現地調査の結果とは、ずれが生じていました。これの調整を春の除草作業を通じて修正を行いました。しかし秋から冬にかけての除草作業が一斉に実施されたので、これまでに杭を打って希少植物の生育地としてきたところが明確に刈残しとなっています。今回この部分を正確に把握して、里山の会と受け持ちとして除草し、完全に草刈りが完了させることが出来るデータが完成しました。これまでは追加部分を含めて31カ所でしたが、基本的には39カ所で17000㎡になるようです。

●会誌45号の手配り部分が完了 深田前理事長が加茂町や山城町、京田辺市内を連日駆け回り宅配いただく。対話も行って、会費未納者へのお支払のお願いも併せて行なっていただきました。効果がありました。年度末2月3月には新年度会員数の確定と納入推進を計画しています。皆様にはご協力をお願いいたします。

●今週号は記念すべき750号を迎えました。パソコン部会の白木弘一 伊藤千恵子 坂田一郎様にはホームページ更新とニュース発送作業を約15年間にわたって続けていただいています。本当にご苦労様です。またパソコン教室では坂田一郎様が主力となって運営頂いてきました。各位におかれては加齢による体力の後退もあって、今後はさらに苦労に立ち向かいと気力を奮い起こしていかなければならないこととなりますが、よろしく願いいたします。何よりも継続が一番といわれてきましたが、まず健康維持にさらに気を配っていただき800号目指していきましょう。読者の皆さん・会員の皆さんにお願いいたします。手指が動く限り身近な出来事を一行でもお知らせさせていただき、「自然を大切に作る仲間の輪を広げる」というスローガンに迫れるようお力をお貸してください。